

新こども館がオープンしました



新こども館 愛称の看板
デザイン協力:岐阜工業高等学校デザイン工学科

新こども館オープニングセレモニー 開催 愛称は「かさくら」に決定!!

3月6日、新こども館オープニングセレモニーを開催しました。式典では、ワークショップで構想に関わった子どもたちも参加したテープカットから始まり、愛称の発表、看板披露などを行いました。

新こども館の愛称は、337点の応募の中から小中学生などによる投票を行い、「かさくら」に決定しました。「かさまつ」と「さくら」を合わせ、町の花である「桜」に人が集まるように賑やかな施設となるよう、願いが込められています。

誰もが楽しく安全に利用できる遊びや活動の場、気軽に立ち寄れる居場所を目指していきます。

「かさくら」の考案者は次の方々です。

松枝小学校5年 伊藤 実菜朱さん 下羽栗小学校5年 池田 權斗さん



かさまつminaTRY 開催

3月12日から27日にかけて、笠松みなと公園で、新たなにぎわいづくりに向けて、公園の活用方法を検証するための社会実験「かさまつminaTRY」を開催しました。

今回、「朝カフェ」や「焚火カフェ」が期間限定でオープンし、お散歩やジョギングをする方、サイクリングで立ち寄る方が、木曽川を眺めながらのコーヒーを楽しみました。また、「みなとキッチン」ではキッチンカーなどが登場し、家族連れなど多くの方が、様々なメニューを楽しみました。

その他にも、子どもたちが馬と触れ合ったり、SUPの疑似体験や、Eボートで自然観察会、謎解きスタンプラリーなど、新しいみなと公園の楽しみ方を体験しました。

今後は民間主導による社会実験を拡大し、みなと公園の更なる活性化に取り組んでいきます。